

今週（2月5日から2月9日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み最終日を来週に控えていることから、積みの進捗を意識した動きとなり、日を追う毎に調達レートが上昇していく展開となった。

当座預金残高が概ね360兆円近辺で推移する中、無担保コールO/N物は地銀・証券の調達を中心に徐々に調達ニーズが強まり、無担保コールO/N物加重平均レートは、▲0.04%台から▲0.03%台へと日を追う毎に上昇した。週末4日積みとなる9日は調達ニーズが更に強まり、▲0.045～▲0.02%のレンジでの出会いとなった。ターム物に関しては、地銀業態を中心にショートターム物で▲0.03%近辺での出会いが散見された。また、先週と同様、株価下落の影響から一部の業態の資金調達が活発になっていた。

固定金利方式の共通担保資金供給オペに関しては、8日に1W物8,000億円、3M物5,000億円がオファーされ、1W物は応札額803億円(期落ち分1,312億円)、3M物は応札額80億円(期落ち分170億円)といずれも札割れとなった。

●レポ市場

今週のO/N GCは積み期間終盤が近づいたことで投資家の資金調達ニーズが減退し、徐々にレートを切り下げながらの推移となり、▲0.10～▲0.07%のレンジでの出会いとなった。

週初5日のT/Nは▲0.075～▲0.07%での出会い、S/Nは▲0.08～▲0.07%での出会い。翌6日も同水準での出会いとなったものの、7日のS/Nはオファーサイドのニーズが減退したことに加え、休日をまたぐ4日物であったことからビッドサイドのニーズがやや増えたこともあり、レートを下げて▲0.10～▲0.09%までの出会いとなった。翌日8日には短国3ヶ月物と6ヶ月物の発行があったものの、オファーサイドの資金調達ニーズはさほど増加せず、▲0.09%台での動きとなった。9日もほぼ同水準で推移した。

SCについては引き続き10yの330番から340番台でタイトなレートで取引される銘柄が散見された。個別銘柄では5y 130～133、10y 336～349、20y 163、30y 51～57などにビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、先週に引き続き良好な需給環境が継続する中、全般的に堅調な相場展開となった。

7日に実施された6M物の入札は、WI取引では特段の出会いは見られなかったものの、平均落札利回▲0.1495%、按分落札利回▲0.1454%としっかりした結果となった。セカンダリーでは▲0.158～▲0.15%で出合う等、強含みで推移した。8日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.153～▲0.152%での出会いが見られる中、平均落札利回▲0.1524%、按分落札利回▲0.1479%と前回債からレートは小幅上昇となったものの、引き続き堅調な入札となった。セカンダリーでは▲0.158～▲0.1525%の出会いと強含みで推移した。

9日に実施された短国買入オペは、事前予想通りの12,500億円でオファーされた。応札額は3兆円台と膨らんだものの、平均落札利回較差▲0.001%、按分落札利回較差▲0.002%と小じっかりした結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は、年末に一旦残高を落とした先の再調達が一巡したことや、月初ということもあり、週を通して案件少なく静かなマーケットであった。発行量は、償還総額5,000億円程度に対して発行総額3,000億円程度にとどまった。市場残高は、金融法人の年末資金調達分が剥落したことで18兆円を下回ったものの、低レートによる発行環境の良さを反映して、8日時点で17兆5,487億円と引き続き高水準で推移している。発行レートは期内物では引き続き0%近辺が中心となっている。期末越え物については、3月末の有利子負債削減の動きから著しく玉不足が予想されることや、3月のCP等買入オペが1回あたり4,500億円へ増額されたことを受けてか、浅いマイナス圏での発行も見られた。

8日にはCP等買入オペが前回と同額の2,500億円でオファーされ、平均落札レート0.000% 按分落札レート▲0.001%とほぼ前回（平均0.001% 按分▲0.001%）並みの結果となった。市場残高が膨らんでいる中で依然ディーラーの売却ニーズは強く、レートは低下しづらい状況となっている。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
2/5 (月)	22,682.08	0.080	109.95	△ 0.044	△ 0.072	3,592,100
2/6 (火)	21,610.24	0.070	108.70	△ 0.041	△ 0.072	3,609,400
2/7 (水)	21,645.37	0.070	109.42	△ 0.038	△ 0.076	3,608,900
2/8 (木)	21,890.86	0.075	109.38	△ 0.036	△ 0.093	3,597,900
2/9 (金)	21,382.62	0.065	108.84	△ 0.034	△ 0.093	3,605,900

来週（2月13日から2月16日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
2/12 (月)	振替休日				1月の米財政収支
2/13 (火)	1月の企業物価指数(日銀 8:50)				1月の英消費者物価指数
2/14 (水)	10-12月期のGDP 1次速報(内閣府 8:50)	5Y 22,000億円 2/16発行	交付税借入 10,500億円 2/22借入		1月の米消費者物価指数 1月の米小売売上高 12月の米企業在庫 10-12月期のユーロ圏GDP2次速報
2/15 (木)	12月の機械受注統計(内閣府 8:50) 12月の石油等消費動向統計(経済産業省 13:30)	TB3M 44,000億円 2/19発行			1月の米生産者物価指数 1月の米鉱工業生産・設備稼働率
2/16 (金)		TB1Y 23,000億円 2/20発行	流動性供給 4,000億円 2/20発行	国有林野借入 960億円 2/26借入	1月の米住宅着工件数 2月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/12 (月)	振替休日								
2/13 (火)	900	▲ 2,700	▲ 1,800	全店共通 CP買入 ETF買入 国債補完	▲ 1,500 ▲ 200 700 2,300	900	2,200	400	TB3M発行▲44000償還43200 TB6M発行▲23000償還24500 TB6M発行▲23000償還24500 30Y発行▲8000
2/14 (水)	0	1,000	1,000	国債買入 短国買入 CP買入		8,500 12,500 2,500	23,500	24,500	交付税借入▲10500期日10500
2/15 (木)	▲ 1,000	56,000	55,000				0	55,000	年金定時払い 源泉税揚げ 2Y発行▲22000償還9800 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲3400 個人向け3Y償還300
2/16 (金)	▲ 1,000	▲ 25,000	▲ 26,000				0	▲ 26,000	労働保険料揚げ 5Y発行▲22000
週間合計	▲ 1,100	29,300	28,200	—	600	25,100	25,700	53,900	

2/13は日銀予想、2/14以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、15日に年金定時払いがあり、大幅な余剰日となるが見込まれる。積み最終週ということもあり、15日までの無担保コールO/N物加重平均レートはやや強含みで推移するものと予想される。新しい積み期間に入る16日は、15日の年金定時払いの影響を受け、調達ニーズは一服すると考えられるため、無担保コールO/N物加重平均レートは低下するものと予想される。

レボ市場は、週内に積み最終日を迎えるが、オファーサイドの資金調達ニーズは引き続き低調と見られ、レートも▲0.10%前後の水準での引合いが中心になると見られる。

短国市場は、15日に3M物、16日に1Y物の入札が実施予定となっており、引き続き海外需要や買入オペの動向が注目される。

CP市場は、月半ばの為今週同様落ち着いたマーケットが予想される。また15日にはCP等買入オペが2,500億円予定されているが、引き続き市場残高は高水準を維持すると見られ、同水準での決着が予想される。ただし、オファー額の増額等があれば、3月のレート低下を先取りする可能性もあり、動向が注目される。

主要なイベントとしては、13日の1月の英国CPI、14日の10～12月期のGDP速報値、1月の米国CPIなどが挙げられる。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされたいとお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。